



町長の行政報告を お知らせします

八峰町3月議会定例会が3月6日から16日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、平成24年度予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

東日本大震災から満一年 避難路看板を設置、ハザードマップも完成

日本大震災から満一年を迎えようとしています。あらためて被災された方々にお見舞い申し上げると共に亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げます。

現在、町に避難されている方は、自宅を購入され引越して来られた方を含め、5世帯11人となっています。避難されている方々については今後も出来るだけの支援をして参ります。



「新町まちづくり計画」を基に、平成19年度を初年度とする10年間の八峰町総合振興計画を策定して、今年度、前期計画の最終年度となることから、来年度からの後期基本計画策定にむけて、総合振興計画後期基本計画策定審議会の委員の皆様からご審議をいただき、3月2日、答申を頂きました。

八峰町総合振興計画 後期基本計画を策定

本年度から5カ年の行政運営の指針として、白神の自然と人とで創るやさしい町づくりに向けて、更にきめ細かな行政サービスを提供して参りたいと考えています。



八峰白神の塩、白神塩もろみ 売上目標を達成



農林水産物処理加工施設の経営状況ですが、八峰白神の塩については、厳選した荒塩が入った「こだわりの逸品」を昨年の秋頃から発売し、ギフト等に活用されたこともあり、今年度の売上目標である720万円を達成できる見込みとなっています。

また、白神塩もろみについても、東京都内で開催された商談会等に積極的に参加し販路の開拓に努めたことや、塩もろみを使用したハタハタ寿し講習会を町内と大館市で合計3回開催し、一般消費者への売り込みを行ったことなどから、116万9千円の今年度の

3月議会定例会に 提出した主な議案

- △八峰町空き家等の適正管理に関する条例制定について
- △八峰町税条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町保育所条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町産業振興促進条例制定について
- △八峰町特定地区公園条例の一部を改正する条例制定について
- △八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について
- △平成23年度一般会計補正予算9,427万8千円を追加するもの
- △主なり歳出
- △電算システム改修業務委託料、障害者自立支援分国庫支出金返納金、財政調整基金積立金、雇用創出基金積立金、自然再生基金積立金など
- △各特別会計補正予算
- △八峰町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- △八峰町沢目財産区管理委員の選任について
- △平成24年度一般会計及び各特別会計予算

売上目標を達成しています。農林水産物処理加工施設の健全経営には、更に塩・塩もろみの売上げの向上が不可欠でありますので、現在、全国的にヒットしている「塩麴」よりも、保存性やマスキング効果に優れた天然食品調味料であることを一般消費者に対しPRするとともに、白神自然食品と連携し、食品加工業者へのセールス強化も図って参りたいと考えています。

生産数量目標 前年を上回る

平成24年度産米の生産調整は、依然として米過剰傾向が続く、全国の数量目標は前年より2万トン減となりましたが、秋田県は前年より3,220トン(0.7%)増の44万3,640トンで、5年ぶりの増加となりました。

昨年12月27日に県から市町村別生産数量目標が示され、八峰町には前年より96トン増の6,328トン、面積換算で15.04ヘクタール増の1,120ヘクタールが配分されました。これを受けて1月30日に開催された八峰町農業再生協議会の臨時総会で配分方針等が協議され、水稲作付率を前年より0.9%増の59.4%、転作率を前年より0.9%減の40.6%とし、農家に

サル作物被害 アンケート結果まとまる

一律配分することに決定されました。農業再生協議会では、生産数量目標の配分方針や国の新政策の「人・農地プラン」や新規就農・農地集積事業などについて、2月29日に開催した農事班長会議で説明したほか、3月5日から9日まで集落座談会を開催し、周知徹底を図ることにしています。

サルによる農作物の被害状況を昨年12月に町内全農家を対象に実施したアンケート結果がまとまりました。対象農家890戸のうち、回収数は607件で回収率は68.2%でした。「被害がある」と答えた農家は八森地区が36%、峰浜地区が30%で、全町で約3割の農家が被害を受けています。農作物の実損面積は、八森地区が0.53ヘクタール、峰浜地区が3.93ヘクタールで、農地面積の多い峰浜地区が八森地区を大幅に上回っています。作目別の被害実損面積は大豆が約3ヘクタール、水稲が約0.4ヘクタールとなっており、大豆が群を抜いて被害を受けていることが判明しました。被害金額は全町で297万円に上り、ネギが70万円と一番多く、続いて水稲、大豆が上位3品目となっております。全体の約6割を占めています。現在の被害対策の取組状況について

住宅リフォーム事業 平成24年度も継続実施



住宅リフォーム緊急支援事業の1月末現在の申請件数は241件で、事業費は2億6,899万円、町補助金の申請額は3,040万9千円となっています。同事業は、住宅の耐久性の向上と、建築関係者の受注拡大に大きな効果が上がっており、地域経済の活性化と住民の定住化を促進するため、引き続き支援事業を継続して参りたいと考えています。